

第8回保育部会研究委員報告書

浜田市保育連盟会長 山崎 央輝			保育部会長 宮本 ゆかり（れんげ保育園）		
開催日時	令和6年8月22日	開催場所	浜田市総合福祉センター 研修室	記録者	河野 理恵 （くもぎ保育園）
	14:00 ~17:00				
出席者	おぐに・うみかぜ・三隅・みのり第2・くもぎ			欠席者	浜田ひかり

1. 協議内容

- ・現在、研究副委員長が1名（浜田ひかり）決まっているが、2名体制にすることを決定し、参加者の中から副委員長を選出する。
- 協議の結果…三隅保育園（渡邊先生）に決定する。

【前回の課題①自園で頑張っているところ②今後の課題やもう少し頑張っていきたいところについて意見を持ちより協議した】

《A園》

0.1.2歳—38名

職員

9~10人に対応

①子ども主体の保育（施設見学や講師を招いて見守る保育を取り入れ実践している）

- ・0, 1歳の子どもたちが遊びを選択できるようにしている
- ・チーム保育の実現（3, 4, 5歳を中心に）

②保育の見直し中で、いろいろな園を見学しているのでそれを自園に取り入れ職員皆が理解し足並みを揃えて保育していけたらと思う。

《B園》

0.1.2歳—18名

職員

6人に対応

①0, 1歳でも自分で出来ることは見守ったり、必要な声掛けをしたりして、できることが増えてきているように思う。

- ・異年齢との関わりを日々「大事にするように意識している
- ・給食は0歳単独、（1, 2歳）（3, 4, 5歳）3つのグループに分かれて食べている。

②他の園をみて勉強してみたい。

《C園》

0.1.2歳—31人

職員

8人に対応

①給食に関しては基本0, 1歳と一緒に食べるようにし、1歳児の中に2歳児クラスに移動して食べたい子はその日の子どもの思いを受け止め2歳児クラスで食べている。(職員が決めない)

食事環境を変えただけで、遊ぶ時も年齢に関係なく発達の近い子と関わりながら遊ぶ姿が多くみられるようになってきた。

・担任だけでなく、チームで子どもを見る目を養い中。

②帳面に時間がかかり、話し合いの時間がなかなかもてない。

・0, 1, 2歳が同じフロアにいるので、おもちゃを持ち歩くため片付けが難しくコーナーが確立しにくい。

《D園》

0.1.2歳—30人

職員

7人に対応

①意識改革から始めている。例えば...給食のみんなで一斉にしていた「ごちそうさま」を止めたところ、子どもたちがムダに待つ時間がなくなった。

②保育士の保育観の違いでチーム保育が難しいと感じることがある。異年齢の子ども同士の繋がりを大切にしたい先生と、自分のクラス意識が強く「落ち着いて、きちんと」を実現したい先生とに分かれてしまう。

《E園》

0.1.2歳—4人

職員

2人に対応

①人数が少ないので、個々の子どもの要求に対応できる。おもちゃを自由に出したり、0歳もサークル内を開放し、自分のしたい遊びを楽しんだりしている。

・異年齢との関わりを増やしたところ、大きい子の真似をして、いろいろやってみようとする姿が見られるようになってきた。

②2歳児の作ったものを、0, 1歳児がすぐに壊してしまうこと。

★今後の実践として、(0, 1歳に視点を当てて)

- 1、生活面(食事、排泄、睡眠など)
- 2、遊び
- 3、異年齢交流
- 4、子どもの姿からの話し合い

自園で取り組んでいけそうなものを話し合い、できれば実践して試してみる

次回開催予定 10月29日(火) 14:00~